

CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 15 No.18 2013年9月30日号

編集: editor@cnar.jp 広告: pr@cnar.jp 読者登録: <http://cnar.jp>

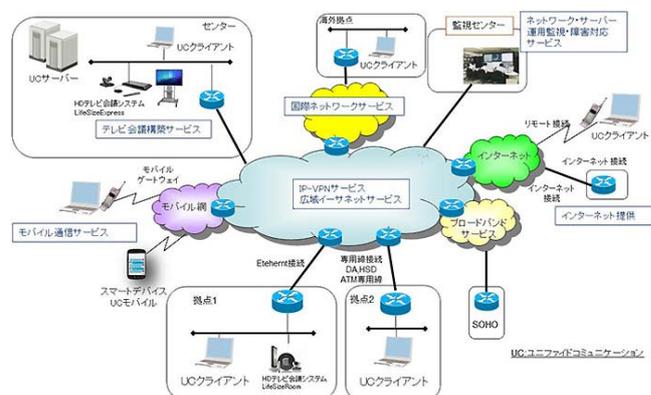
Copyright 2013 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

■日立システムズ、ユニファイドコミュニケーション環境の構築・運用・保守サービスをワンストップで提供開始

株式会社日立システムズ(東京都品川区)は、「NETFORWARD(ネットフォーワード)ユニファイドコミュニケーションサービス」を9月27日から提供開始する。(9月27日)

NETFORWARD ユニファイドコミュニケーションサービスは、「Microsoft Lync」やPBXと連携する「プレゼンスビューワー」(プレゼンス機能を提供するPCアプリケーション)などのUCツールを活用し、統合的かつ効率的なコミュニケーション環境を実現する。このサービスでは、電話・テレビ会議システム・インスタントメッセージなど複数のコミュニケーションツールを一元化したユニファイドコミュニケーション環境を、構築から運用・保守・問い合わせサポートまでワンストップで提供する。既存の電話環境やネットワーク環境、利用端末の見直しなども含まれる。



NETFORWARD 内連携イメージ (日立システムズ 資料)

日立システムズは、日立グループ各社と連携し、ネットワークソリューション NETFORWARD のひとつとして、複数拠点をもち企業を中心に、NETFORWARD ユニファイドコミュニケーションサービスを拡販し、2015年度末までに累計250社、7億円の販売を目指す。

■日本IBM、「IBM Sametime」のビデオ会議機能を強化、H.264/SVCに対応

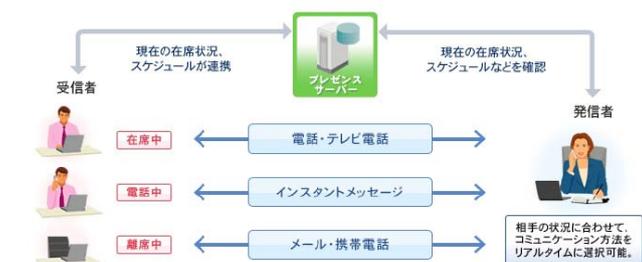
日本IBM株式会社(東京都中央区)は、ユニファイド・コミュニケーション&コラボレーション・ソフトウェア製品の最新版「IBM Sametime Complete V9.0」を発表。(9月17日)

IBM Sametime Complete V9.0は、エンタープライズ向けソリューションのひとつ。在籍確認機能を中心に、インスタント・メッセージ、音声/ビデオ会議、音声通話の3つの要素を統合した、リアルタイム・コミュニケーションを包括的に実現するソフトウェア製品の最新版となる。

今回の最新版では、以下の点が特長となる。

(1)H.264/SVCに対応することでビデオ会議の機能を拡張した。ビデオ画像のさらなる安定化や、複数人数の画面分割型の会議の開催を可能にしている。

(2)ソフトウェアMCUの追加により、より多くのビデオ会議を同時に開催することができる。



ユニファイドコミュニケーション利用イメージ(日立システムズ 資料)

また、従来から提供している株式会社日立製作所のIP-PBX製品「NETTOWER CX-01」やビデオ会議システム「Woolive」、ライフサイズ社の「LifeSize シリーズ」、あるいはモバイル通信サービスなども連携することが可能となっている。

(3) 専用クライアントに加え、ブラウザ経由でも複数分割画面でのビデオ会議を利用することができる。ID とパスワードがあればどこからでもビデオ会議に参加できる。

(4) 社内内線での IP 電話の利用が可能。IP 電話による内線の利用権が付属されているため、これにより社内通話にかかるコストを削減できるとしている。なお、外線の利用には別途「IBM Sametime Unified Telephony V.9.0」の購入が必要となっている。

(5) 社外メンバーを一時的にユーザとして扱うことができるライセンス体系になっている。Sametime ユーザが、社外の取引先などとコミュニケーションや会議を行える。

今回の IBM Sametime Complete V9.0 に加え、各機能に特化した IBM Sametime ファミリーの最新版も以下の通り発表している。(1)「IBM Sametime Communicate V9.0」:インスタント・メッセージ、ファイル共有機能。(2)「IBM Sametime Conference V9.0」:音声/ビデオ会議機能。(3) IBM Sametime Unified Telephony V9.0:オンライン電話機能。

以上これらの製品はいずれも 9 月 17 日より IBM および IBM パートナー経由で販売し、9 月 20 日より出荷を開始する。

■フォースメディアの「TV 会議録画 Station」、シスコのエントリークラステレビ会議システムに対応、従来モデルと変わらない価格

株式会社フォースメディア(東京都品川区)は、シスコシステムズ社のエントリークラステレビ会議システム「Cisco TelePresence SX20 QuickSet」対応モデル「TV 会議録画 Station for SX20」を発表。販売開始は 9 月下旬より。(9 月 25 日)

Cisco TelePresence SX20 QuickSet は、法人向けオリジナルブランド「Biz-Force」で販売されているテレビ会議専用レコーダ「TV 会議録画 Station」に今回追加された新しいモデル。

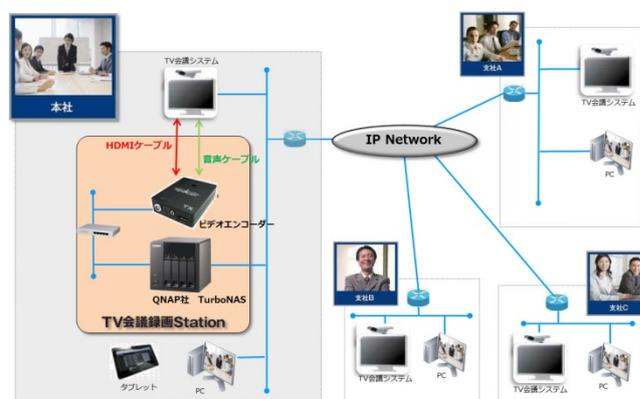


TV 会議録画 Station 製品コンセプト(フォースメディア 資料)

長時間の高画質録画(1080p/720p)に対応しながらも、低価格を実現した従来モデルの機能と使い勝手はそのままに、従来モデルが対応できなかった、Cisco TelePresence SX20 QuickSet のような“自局音声ミキシング機能を持たないテレビ会議システム”へ対応した。

自局音声ミキシング機能を持たないテレビ会議システムは、自局と相手局の音声を MixOut することが出来ず、研修や勉強会などの一方通行の会議用途でしか録画の利用ができなかった。

そこで、今回発表した TV 会議録画 Station for SX20 は、従来販売している TV 会議録画 Station に、音声ミキサーと録音用 集音マイクを付属するとともに、音量のバランスや音声ミュートの機能を追加し、SX20 に完全対応した。価格は従来モデルと同額で販売する。



TV 録画 Station システム構成イメージ(フォースメディア 資料)

TV 会議録画 Station は直感的なユーザインターフェイスで簡単に録画・再生が可能となっている。主な特長は以下の通り。

(1) フル HD (1080p) /HD(720p)画質。MPEG4 または FLV 形式での録画に対応。(2) カレンダー形式の管理画面からのスケジュール録画。(3) PC のほか、スマートフォン・タブレット(iOS、Android)での録画操作・再生(ネットワーク経由)。アプリは QNAP 社製の「Qfile」を使用。AppStore や GooglePlay で無償提供。なお、録画データのダウンロードも可能。(4) 再生する端末に合わせてファイル形式・画像サイズを変更可能(WMV 形式に変換可能)。(5) 主要テレビ会議システムメーカーの端末に対応。シスコ、ライフサイズ、パナソニック、ポリコム、ソニー(詳細は同社に確認)。(6) 保存データを簡単にバックアップ。別途、QNAP 社「TurboNAS」を 1 台用意しリモートレプリケーション機能を使って、録画データを簡単にバックアップすることが可能。(7) 外部 API 経由での録画の開始/停止、ステータスの取得などが可能。

希望小売価格は 48 万円からとなっており、導入コストを大幅に抑え、録画後の保存・配信までトータルにカバーするため、今まで高額な録画サーバしか選択肢がなく、録画自体を諦めていたユーザ、民生用レコーダによる簡易的な録画再生のみで、効果的な活用が出来ていなかったユーザに最適な録画ソリューションであると同社では説明している。

品名	型番	希望小売価格	録画時間目安
TV会議録画Station for SX20 2bay 1TBモデル	BF-TVCR5-1/SX20	¥480,000 (税抜)	約600時間(1080p) 約800時間 (720p)
TV会議録画Station for SX20 4bay 3TBモデル	BF-TVCR5-3/SX20	¥580,000 (税抜)	約1800時間(1080p) 約2300時間 (720p)
TV会議録画Station for SX20 4bay 6TBモデル	BF-TVCR5-6/SX20	¥680,000 (税抜)	約3500時間 (1080p) 約4800時間 (720p)
TV会議録画Station for SX20 4bay 9TBモデル	BF-TVCR5-9/SX20	¥780,000 (税抜)	約5500時間 (1080p) 約7000時間 (720p)

製品ラインナップ(フォースメディア 資料)

なお、サポートサービスは、標準で 1 年間の「先出しセン
ドバック保守(電話・メール対応サポート付)」が付帯するほ
か、オプションとして、「先出しセン
ドバック保守(3 年・5 年)」
と「オンサイト保守(3 年・5 年)」を用意している。

法人向けオリジナルブランド Biz-Force は、ストレージや

ネットワーク装置を中心に、同社が展開するオリジナルブラン
ド。

*関連記事: 定期レポート: 2010 年 9 月 30 日号、2011 年 2 月 15 日
号、2011 年 10 月 15 日号、2013 年 5 月 31 日号。

■アルカディン社、同社の電話会議とアドビ社の「Adobe Connect 9.1」と一体型ソリューションとして統合

アルカディン社(日本法人:アルカディン・ジャパン株式会
社、東京都港区)は、アドビ システムズ社の Web 会議システ
ム「Adobe Connect 9.1」に、アルカディン社の電話会議サー
ビスを統合したことを発表。全世界でサービスを提供する。
(フランス・日本:9月 25 日)

アルカディン社がサービスとして提供する Adobe Connect
には、用途にあわせて選べる 3 つのモジュールが提供される。
VoIP もしくは一般電話から接続できるようになっている。

(1)「Adobe Connect for Web Meetings」:遠隔会議に特化
したモジュール。従来の Web 会議が持つ資料共有やデスク
トップ共有を超えて、対話性を高めるためのコラボレーション機
能を豊富に搭載。チャット、アンケート、分科会、表示レイアウト
のカスタマイズ、ソーシャルメディアなど、参加者の交流を活
発にする「ポッド」と呼ばれる機能がある。

(2)「Adobe Connect for Webinars」:セミナーやイベントをイ
ンターネット上で行い、物理的な場所に人を集めることなくメ
ッセージを届けることができるモジュール。参加者の視聴状
況を測定・可視化するリアルタイム分析もある。販売促進を目的
としたマーケティングや営業に活用できるという。

(3)「Adobe Connect for eLearning」:対話型の研修コースを
簡単に作成・展開・管理することができるモジュール。侵入社
員向けのオリエンテーションや社員教育などに活用できると
いう。

Adobe Connect は、人間工学的で、直感的かつセキュア
な使い勝手を体感できる点が特長で、新バージョンの 9.1 で
はモバイルや生産性向上に関係する機能が強化されている。
たとえば、録画内容を MP4 形式に変換することができるように

なったため、PC と同じ画質でモバイル機器からでも録画を再生することが可能だ。

一方、Adobe Connect が他の Web 会議と違う点は、e ラーニングコンテンツ制作ツールや、「Adobe Marketing Cloud」がもたらすトップクラスのデジタルマーケター用ツールといったアドビ社が持つコア技術を統合しているところ。

アルカディン社はクラウドでサービスを提供しており、エンドユーザへのサポートやトレーニングを、グローバルに年中無休で行っている。日本を含め 32 개국 51 拠点のグローバルネットワークによるサポートを提供。ユーザの現地言語で対応している。37,000 社のユーザにサービスを提供している。

製品・サービス動向-海外

■Acano 社、「Acano Solution」の提供開始を発表

米 Acano 社(アカーノ)は、「Acano Solution」の提供開始(GA)を発表した。(8月28日)

ひとつは、バーチャルミーティングルーム「coSpaces(コースペースーズ)」の提供。coSpaces は、電話、タブレット、PC、テレビ会議システム、Lync クライアントに対応しており、さまざまなミーティング用途に対応しているサービス。

もうひとつは、オンプレミスソリューションとしての「Acano Servers」(Intel x86 サーバ)。このサーバは 50,000 の coSpace ユーザをサポート。現在 25 の企業ユーザトライアルがすでに行われている。そのうちの社はフォーチュン 100 社にはいる通信事業者でマイクロソフトの Lync クライアントを 90,000 使用している。トライアルを 5 月に始めた。

なお、Acano Servers の仮想化版は今年の後半にリリースの予定という。

一方、Acano 社のパートナーは、IVCi 社、NexTech Solutions 社、Office Management 社、SKC 社、Talk&Vision 社、Technology Specialists 社、Video Guidance 社、VideoNor 社、VisionPoint 社、Yorktel 社。これらのパートナー各社はオンプレミスソリューションやホスティングあるいは

マネージドネットワークサービスの中で Acano ソリューションを提供する予定だ。

Acano 社の CEO は、元 Cisco 社コラボレーショングループの担当上級副社長 OJ Winge 氏。

■Pexip 社、スケーラブル ソフトウェアプラットフォーム「Pexip Infinity」の提供開始

Pexip 社(ノルウェー)は、スケーラブル ソフトウェアプラットフォーム「Pexip Infinity」(ペクシプ インフィニティ)の提供開始(GA)を発表した。(9月9日)

Pexip Infinity は、モバイル環境(BYOD など)を含めた、ビデオ(HD 対応)や音声によるパーソナルミーティングルームを提供するプラットフォーム。ソフトウェアオンリーで、仮想化や分散環境、API などにも対応している。加えて、既存のビジネス向けテレビ会議システムやソフトウェアクライアントに対応し、企業の IT 戦略に柔軟に対応できるという。

しかも、設置は簡単で、複数の仮想化マシンにリモートから 15 分ほどでインストールと設定を行い、使用可能状態になるという。加えて、最近のテレビ会議技術ともいわれている、H.265 や SVC、WebRTC にも対応する。iOS モバイル端末には、「Pexip App」を提供する。

導入にあたっては、企業のニーズに柔軟に対応するライセンス(scalable enterprise licensing)により導入がしやすくなっているとともに、クラウド運用にも対応している。

Pexip Infinity の基本的な考え方は、シンプルでかつ高品質なテレビ会議を誰もがどこからでも行えるソリューションを提供するところであり、昨今、バーチャル ワークフォース(会社のオフィスだけでなく多様な場所での働き方)の広がりとともに、企業が求める品質のバーチャルミーティングが必要とされているという。これまでのテレビ会議設置において問題であった、相互接続、帯域、拡張性などの課題を解決するとしている。

Pexip 社は、シスコに 2010 年買収されたタンバーク社(Tandberg)の元社員によって 2012 年に設立。本社はノルウェーのオスロにある。また営業拠点はニューヨークとロンドン

にある。これまでのテレビ会議技術の常識 (conventional videoconferencing thinking) を変えるソリューション開発に力を入れているという。

■Glowpoint 社、予約なしクラウド型テレビ会議サービスを開始

米 Glowpoint 社は、レザバージョンレステレビ会議サービス「Glowpoint Now」(グローポイントナウ)を発表した。(9月17日)

Glowpoint Now は、クラウドベースのサービスで、事前の予約なしでテレビ会議を開始できるサービス。Web ブラウザから簡単に会議を行うことができ、参加者についても Outlook をつかって簡単に追加したりできる。また、「Microsoft Lync」や「Cisco Jabber」にも対応している。さらに、会議中には、参加者の追加や退席などの操作、セキュリティレベル設定、使用状況を見るモニター機能など管理・レポート機能もある。

レザバージョンレスの Glowpoint Now は、中堅や小規模企業を想定している。すでに市場ではそういった SMB 向けのオンデマンドサービスが提供されているが、必ずしも SMB ユーザのニーズを満たしていないと見ている。それに対して、企業の顧客ニーズは多様 (low touch, mid touch, and high touch) であることから、同社のほかのサービスと合わせて提供することでさまざまなニーズに対応できるという。

ビジネス動向-海外

■Blue Jeans Network社、5,000万ドルの増資を発表、資本金は約1億ドルへ

クラウド型テレビ会議サービスを提供する米 Blue Jeans Network 社は、5,000 万ドルの増資を発表。(9月18日)

増資に応じたのは、Battery Ventures 社を筆頭に、前回の出資にも参加した Access Partners 社、New Enterprise Associates 社、Northwest Venture Partners 社。この増資で Blue Jeans Network 社の資本金は約 1 億ドルとなる。

今回の出資金を基に、製品・サービスの開発を強化するとともに、サンフランシスコ、ヨーロッパおよびオーストラリアにおける事業拠点をあらたに設置する。

また今回の発表にあわせて、Blue Jeans Network 社のサービスは 2,000 社、300 万人のユーザが利用する規模まで発展してきた。同社本社は米カリフォルニア州マウンテンビューにある。

■FuzeBox 社、2,600万ドル規模シリーズB増資と、Yammer 社や Salesforce.com で実績のある David Obrand 氏が新 CEO に就任

米 FuzeBox 社は、シリーズB増資と新CEOの就任を発表した。(9月17日)

シリーズBでは、Hermes Growth Partners 社を筆頭に、シリーズAで出資している Index Ventures 社、Khosla Ventures 社、Insight Ventures Partners 社から出資を受けた。合計 2,600 万ドルの出資を受け、FuzeBox 社としての資本金は 4,600 万ドルとなった。

この新たに得た資金をもとに、無料サービス (freemium service) を始めることにした。まずは無料サービスで FuzeBox 社サービスの価値を理解してもらい、その後有償サービスへとシフトしてもらいたい考えだ。このほか、技術開発を推し進め、グローバルなセールスとマーケティング活動を加速し、顧客サポート組織を構築する予定。

新 CEO には、David Obrand 氏が就任。同氏は Salesforce.com に十年、その後マイクロソフト社が買収 (12 億ドル) した Yammer 社で CCO (Chief Customer Officer: 顧客満足 (CS) について責任を担う責任者。) としての実績がある。David Obrand 氏は、今回の出資社である Hermes Growth Partners 社の創業者兼パートナーである Bobby Yerramilli-Rao 氏とともに、FuzeBox 社取締役会に任命される。

Obrand 氏とともに、Yammer 社と Salesforce.com 社でセールスリーダーであった Mary Pecka 氏は CCO に就任。ワールドワイドのセールス活動や顧客との関係強化を推進する。

Yammer 社とマイクロソフト社で幹部を経験した Georg Ell 氏は欧州中東アフリカ地域の担当副社長兼ジェネラルマネージャに就任。欧州を手始めにワールドワイドの事業拡大においての責任者となる。さらに、Yammer 社でファイナンスの幹部を経験した Jonathan Grant 氏はファイナンス担当副社長に就任。財務や決算、IR 関連を担当する。

セミナー・展示会情報

<国内>

■【“見える”カレッジ】ブイキューブの Web 会議サービスが選ばれる理由 ～電子黒板やポリコムと連携して、学習効果アップ～

日時:10月3日(木)14:00～16:30

会場:ブイキューブ本社(東京都目黒区)

主催:ブイキューブ株式会社

詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/100>

■会議の効率化を実現!『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程:10月2日、9日、16日、23日、30日

※すべて水曜日開催。

※全ての日程で13:30-14:30、15:30-16:30の2回開催

※11月の予定もあり。

会場:NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ

詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

■“見える”カレッジ Web 会議サービスの活用メリットとは ～海外拠点や取引先を V-CUBE ミーティングで繋ぐ～

日時:10月9日(水)14:00～16:30

会場:ブイキューブ本社(東京都目黒区)

主催:ブイキューブ株式会社

詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/101>

■製造業でビデオ会議はどう活かされているか?

導入事例・デモを交えてご紹介!

日時:10月10日(金)15:30～17:00(開場:15:15)

会場:ポリコムジャパン セミナールーム(東京都千代田区)

主催:ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

■Polycom Day 名古屋・大阪・福岡・東京 つながる・伝わる・広がる ～ポリコムの最新映像コミュニケーション

日時・会場:

名古屋:11月8日(金)・ミッドランドホール

大阪:11月12日(火)・梅田センタービル

福岡:11月14日(木)・TKP カンファレンスシティ博多

東京:11月20日(水)・ポリコムジャパン

主催:ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

国内その他:<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他:<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

* イベント情報は、情報が入り次第、随時掲載しています。

CNA Report Japan アーカイブ電子ブック版

>2003年-2012年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2013年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/ebook/

電子ブック制作:カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございました。

首都圏以外の地方あるいは海外展示会などの取材もしたいところですが、個人事業主であるためなかなか予算もないというところ。出来ないことについては、可能な限り遠隔会議システムを活用して取材もしたいと考えています。できるところから少しずつやっていきたいと思います。

次号もよろしく願い致します。 橋本啓介